

AEDについて

大館市消防本部では、応急手当として心肺蘇生法やAEDの取り扱い方法、気道異物の除去、また、その他の応急手当に関する救命講習会を開催しています。

【AEDの使用手順】

※心肺蘇生を行っている際に、AEDが届いたらすぐに使う準備をします。

※AEDにはいくつかの種類がありますが、電源を入れると音声メッセージと点滅するランプで、実施すべきことを指示してくれますので、落ち着いてそれに従ってください。

①AEDを傷病者の近くに置く

②AEDの電源を入れる

- ・ふたを開け速やかに電源を入れます。（ふたを開けると自動的に電源が入る機種もあります）それ以降は音声メッセージと点滅するランプの指示に従って操作します。

③電極パッドを貼る

- ・傷病者の胸をはだけ、電極パッドの袋を開封しシールからはがし、電極パッドや袋に描かれたイラストに従って、傷病者の胸の右上（鎖骨の下）と胸の左下側（脇の下5～8cm）の肌にしっかりと貼り付けます。
- ・電極パッドを貼る位置に、医療用の植え込み器具がある場合には、そこを避けてパッドを貼ります。
- ・貼り薬がある場合は、それを剥がして、肌に残った薬剤を拭き取ってから、電極パッドを貼り付けます。
- ・傷病者の胸が濡れている場合は、乾いた布やタオルで胸を拭いてから電極パッドを貼り付けます。

電極パッドの使い分け	小学生以上	未就学児
電極パッドで 使い分ける機種（※）	成人用パッド	小児用パッド
電極モードを 切り替える機種	成人用モード	小児用モード

※AED 本体に小児用パッドが入っていない場合は、成人用パッドで代用します。

また、小学生以上の傷病者へ、小児用パッドや小児用モードを使用しないでください。

④心電図の解析

- ・電極パッドを貼り付けると、「体に触れないでください」などと音声メッセージが流れ、自動的に心電図解析が始まりますので、AED の操作者は「心電図を解析中なので離れてください！」など注意を促し、誰も傷病者に触れていないことを確認します。
- ・AED が電気ショックを行う必要があると解析した場合には、「ショックが必要です」、必要がないと解析した場合は「ショックは不要です」などの音声メッセージが流れます。

「ショックは不要です」といったメッセージの場合は、救助者はただちに胸骨圧迫から心肺蘇生を再開します。

⑤電気ショック（除細動）

- ・AED が電気ショックが必要と解析した場合は、「ショックが必要です」といったメッセージとともにエネルギーの充電を始めます。充電には数秒かかります。
- ・充電が完了すると、「ショックボタンを押してください」や「ショックを実行してください」といったメッセージとともに、ショックボタンが点灯し充電完了の連続音がでます。
- ・AED の操作者は、「ショックを行います！みなさん離れて！」など注意を促し、誰も傷病者に触れていないことを確認して、ショックボタンを押します。
- ・電気ショックを行ったら、直ちに胸骨圧迫から心肺蘇生法を再開します。このタイミン

グで胸骨圧迫の交代を行うのがいいでしょう。



AED の操作者は、ショックボタンを押す際、必ず自分も傷病者から離れ、誰も傷病者に触れていないことを確認しましょう。

⑥AED の使用と心肺蘇生の継続

- ・心肺蘇生法を再開して2分ほど経ったら再び、AED が自動的に心電図の解析を行います。音声メッセージに従って、傷病者から手を離し、周りの人も傷病者から離れます。
- ・以後は、心肺蘇生と AED 使用の手順を約2分間おきに繰り返します。

○心肺蘇生を中止するとき

- ①救急隊に引き継いだとき。
- ②救急隊が到着する前に、傷病者に目的のある仕草や、普段どおりの呼吸が出現したときは、慎重に傷病者を観察しながら、救急隊を待ちます。この場合でも AED の電源は入れたままで、電極パッドも傷病者に貼り付けたままにしてください。